

本製品はJEITAコードカラーに対応しています。

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

※ 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。



PRINTED WITH
SOY INK

この説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2007

< KKNZF > < 07D00000 > < CRA4015-A >

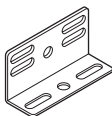


接続・取り付け部品を確認する

本体関係



本体 × 1



取付アングル
× 2



B-CASカード
× 1



座付きネジ
(4×8 mm) × 4

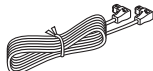


タッピングネジ
(4×12 mm) × 4

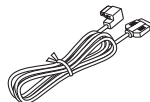
コード関係



電源コード × 1



IP-BUSケーブル
(3 m) × 1



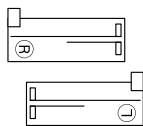
26ピンコンポーネント
ケーブル (3 m) × 1

リモコン関係

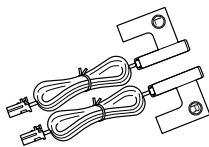


リモコン × 1

フロント用フィルムアンテナ関係



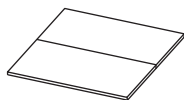
フロント用フィルムアンテナ
左用・右用 各1



フロント用アンテナ
ケーブル
左用・右用 各1



クリーナークロス × 1

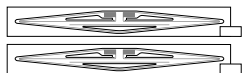


固定用シート × 1

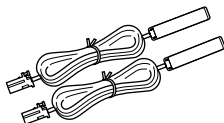


クランパー × 6

リア用フィルムアンテナ関係



リア用フィルムアンテナ
左用・右用 各1



リア用アンテナケーブル
左用・右用 各1



クリーナークロス × 1



クランパー × 6

接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

本機と他の製品では同じ働きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ働きのコードどうしを接続してください。

- 本機は、エンジンスイッチにACCポジションがない車では使用できません。絶対に取り付けしないでください。取り付けると、バッテリー上がりの原因になります。

- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。
- 必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障などの恐れがあります。

接続のポイント

IP-BUS、光デジタルケーブルの接続について

- IP-BUSおよび光デジタルケーブルの端子とケーブルは、同じ色どうしを接続してください。（コネクターの接続部分が色分けされています。）
違う色のコネクターを接続すると、正常に動作しないことがあります。

電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

ノイズ防止のために

- ノイズ防止のため、次のものは本機およびナビゲーション本体や、ハイダウエイユニット、他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。
 - * フィルムアンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
 - * GPSアンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM多重用アンテナおよびそのアンテナコード
 - * ピーコン受信機およびそのアンテナコード
 それぞれのアンテナコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

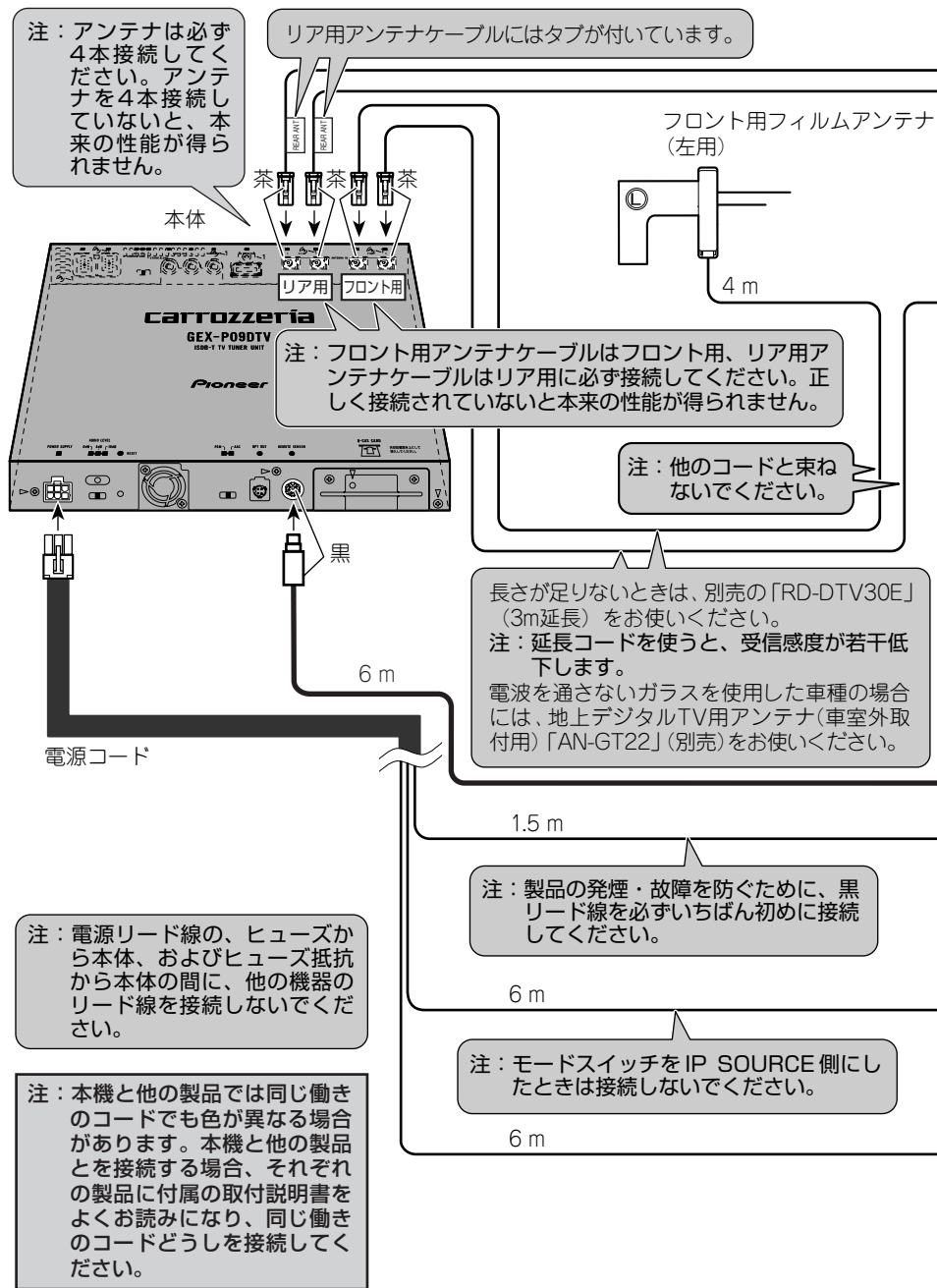
コネクターの着脱のしかた

- コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、色が間違っている可能性がありますので、コネクターどうしの色を確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。
- コネクターを外すときは、図のようにコネクター部分を持ってロックを押しながら引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



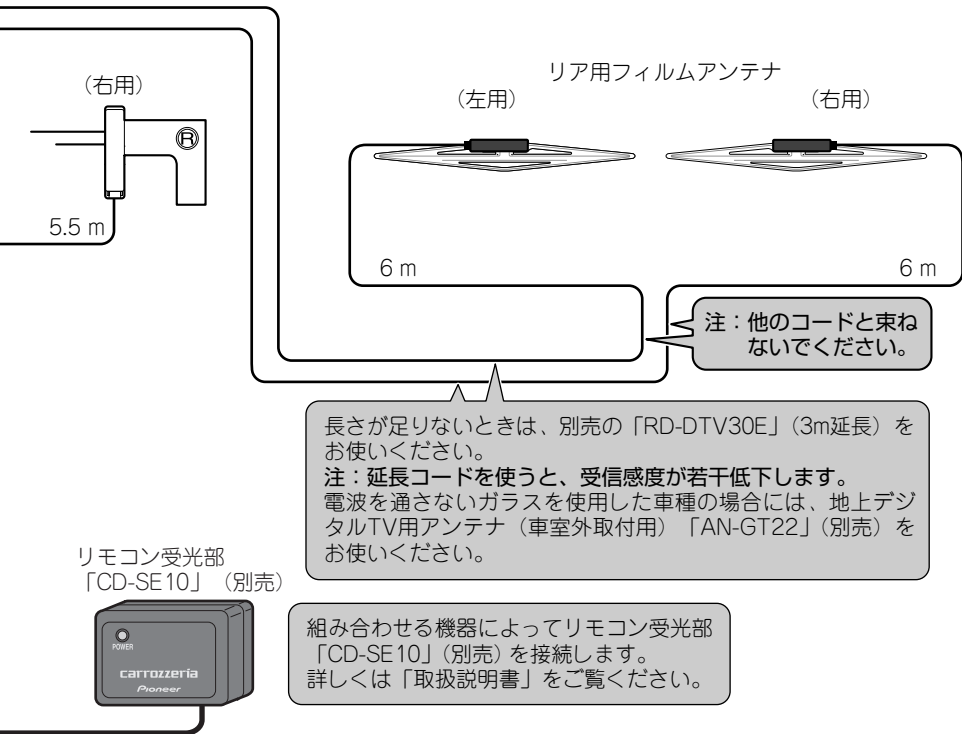
電源コード、フィルムアンテナの接続

—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—

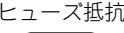



注：電源リード線の、ヒューズから本体、およびヒューズ抵抗から本体の間に、他の機器のリード線を接続しないでください。

注：本機と他の製品では同じ働きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続する場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ働きのコードどうしを接続してください。



黒  アース
車のボディの金属部に確実に接続してください。

ヒューズ抵抗  アクセサリー電源
車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

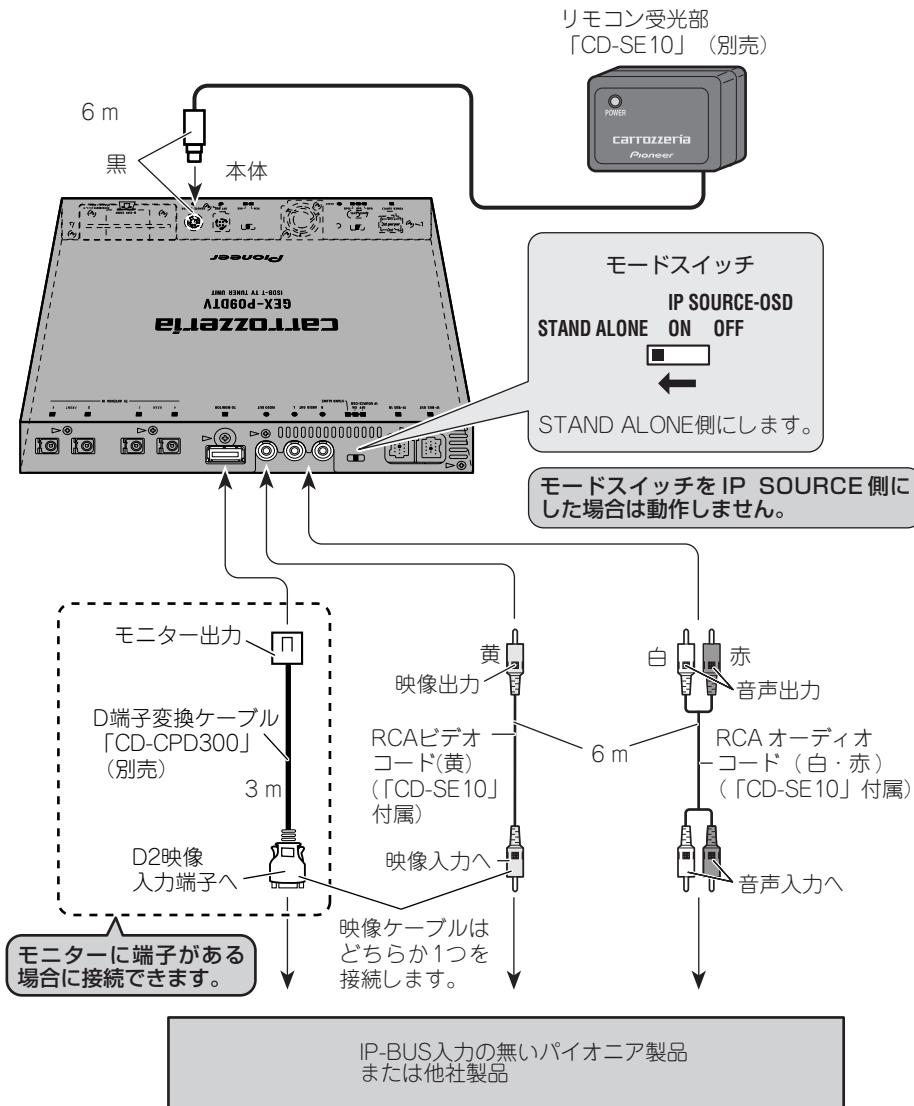
ヒューズ (3 A)  +バッテリー電源
車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

注：赤、黄リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。

IP-BUS入力の無いパイオニア製品または他社製品との接続

——詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください——



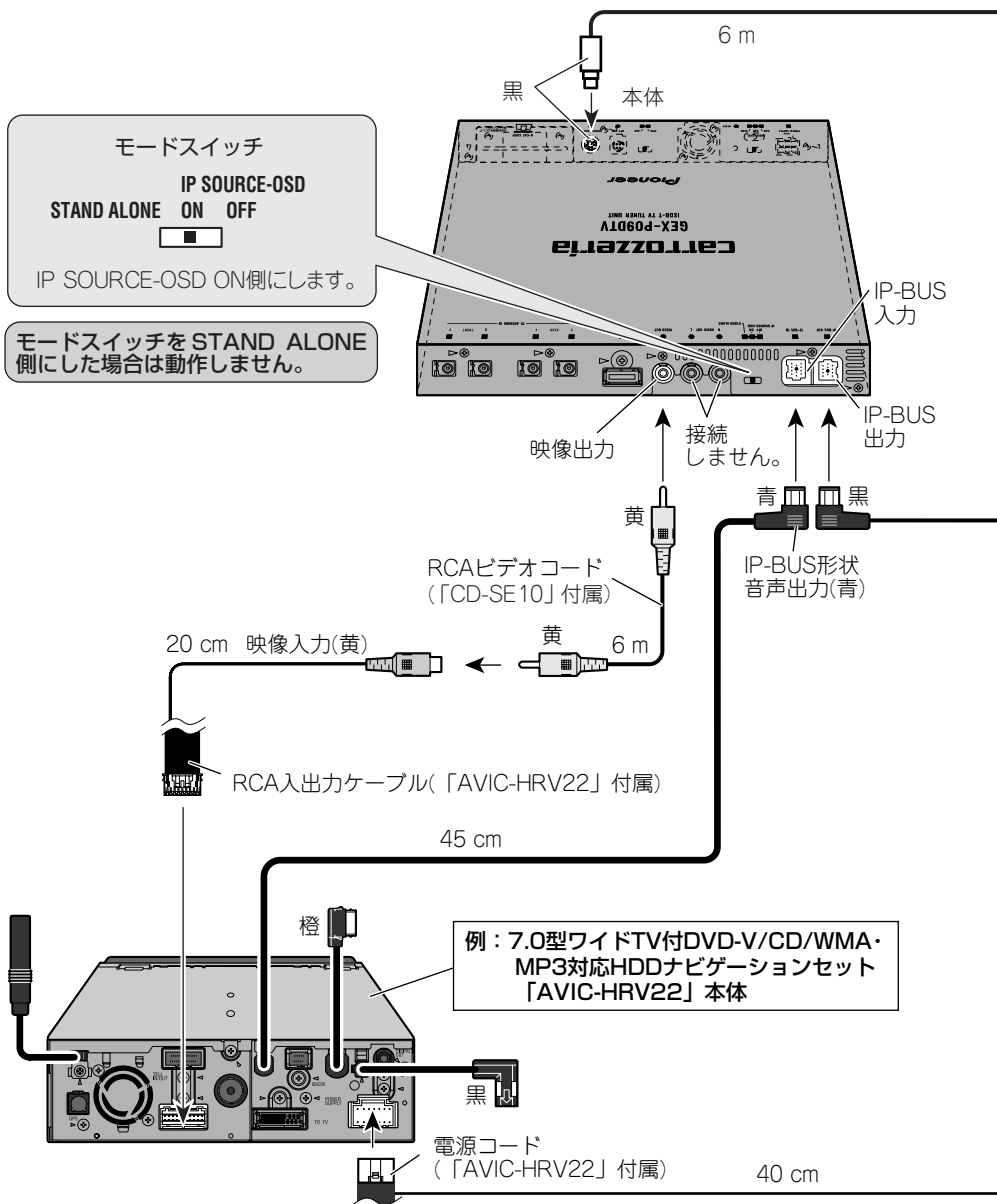
- D2映像入力端子付きのモニターの場合、別売のD端子変換ケーブルを使用すると、RCAビデオコードを使用した映像入力端子への接続より、さらに鮮明で高品位な映像を楽しむことができます。
- 本機の映像出力、モニター出力は、横と縦の比率が16:9のワイド画面モニターの接続を前提としています。本機に横と縦の比率が4:3のノーマル画面モニターを接続して16:9放送を受信すると、左右が押しつぶされた縦長の映像になります。

メモ

- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画すると、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、著作権保護の機能により、ビデオデッキを介してモニター出力した場合には、再生目的でも画質が劣化することがあります。これらは機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴するときは、本機とモニターを直接接続してお楽しみください。
- パイオニア製コンポーネント映像入力端子付きのモニターと組み合わせる場合、付属の26ピンコンポーネントケーブルで接続することができます。

パイオニア製 IP-BUS入力付きメインユニットとの接続 (1)

——詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください——

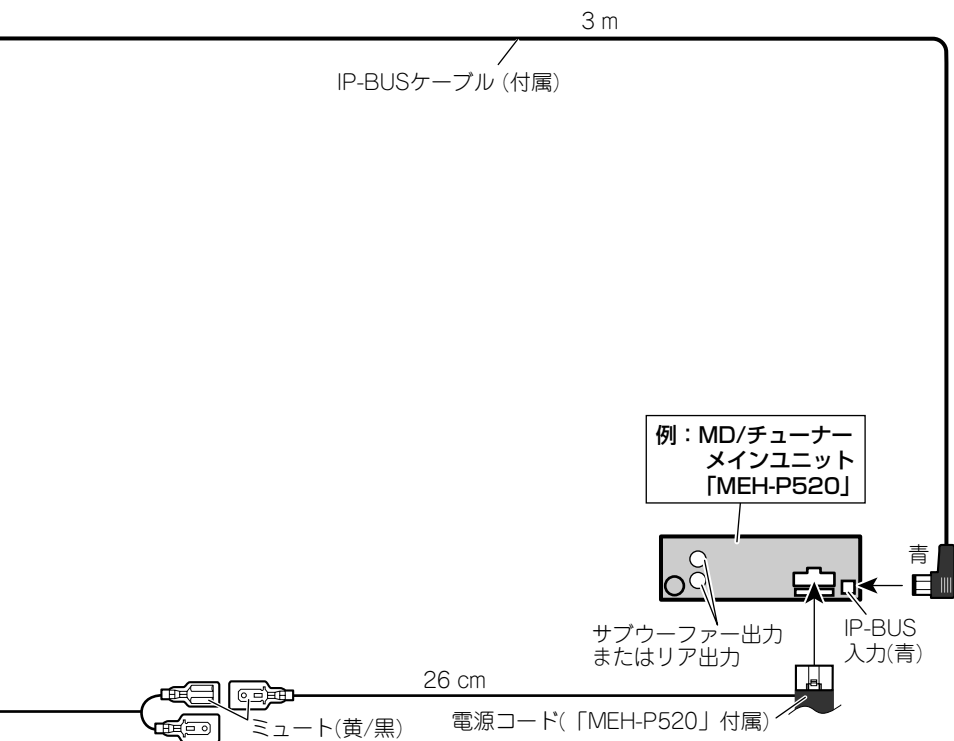


リモコン受光部
「CD-SE10」(別売)



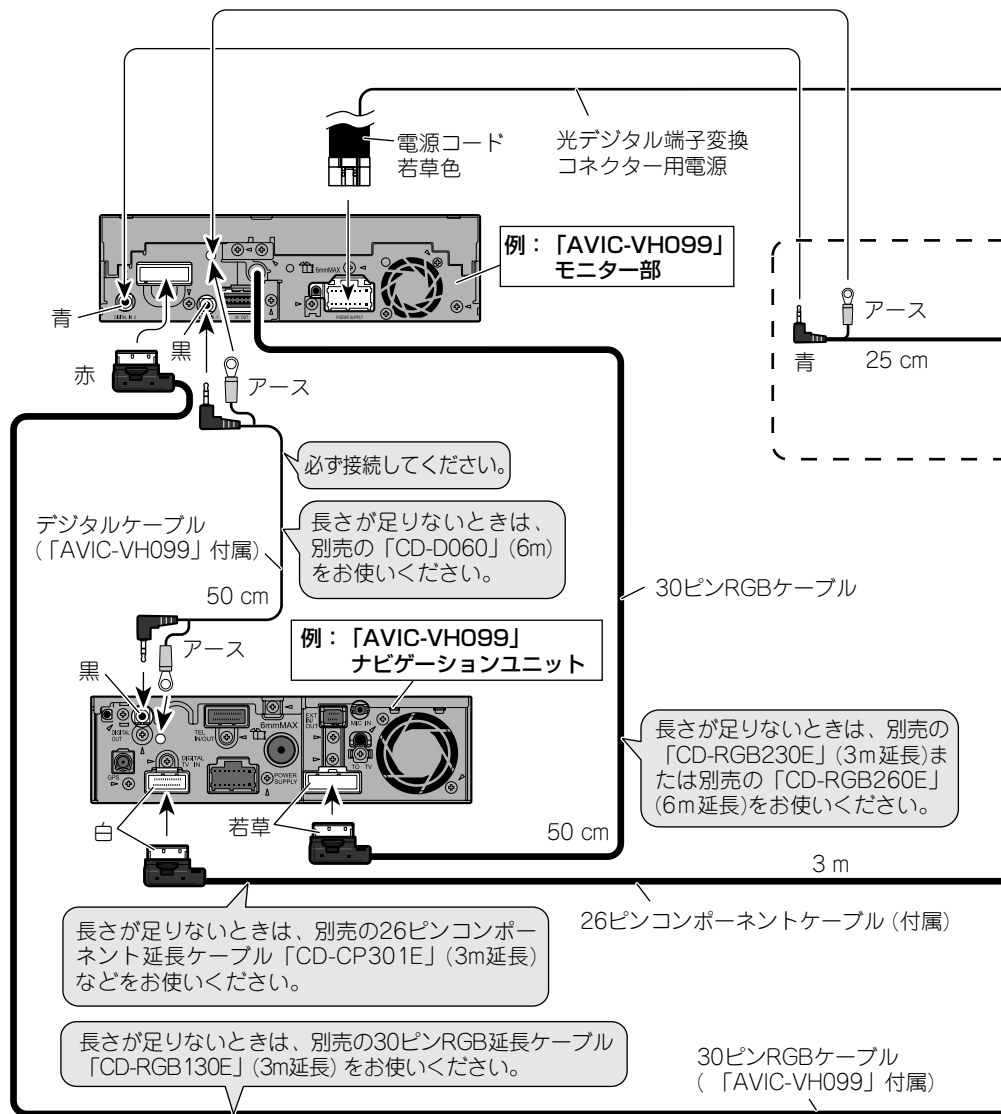
メモ

- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画すると、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、著作権保護の機能により、ビデオデッキを介してモニター出力した場合には、再生目的でも画質が劣化することがあります。これらは機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴するときは、本機とモニターを直接接続してご覧ください。



パイオニア製 IP-BUS入力付きメインユニットとの接続 (2)

——詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください——

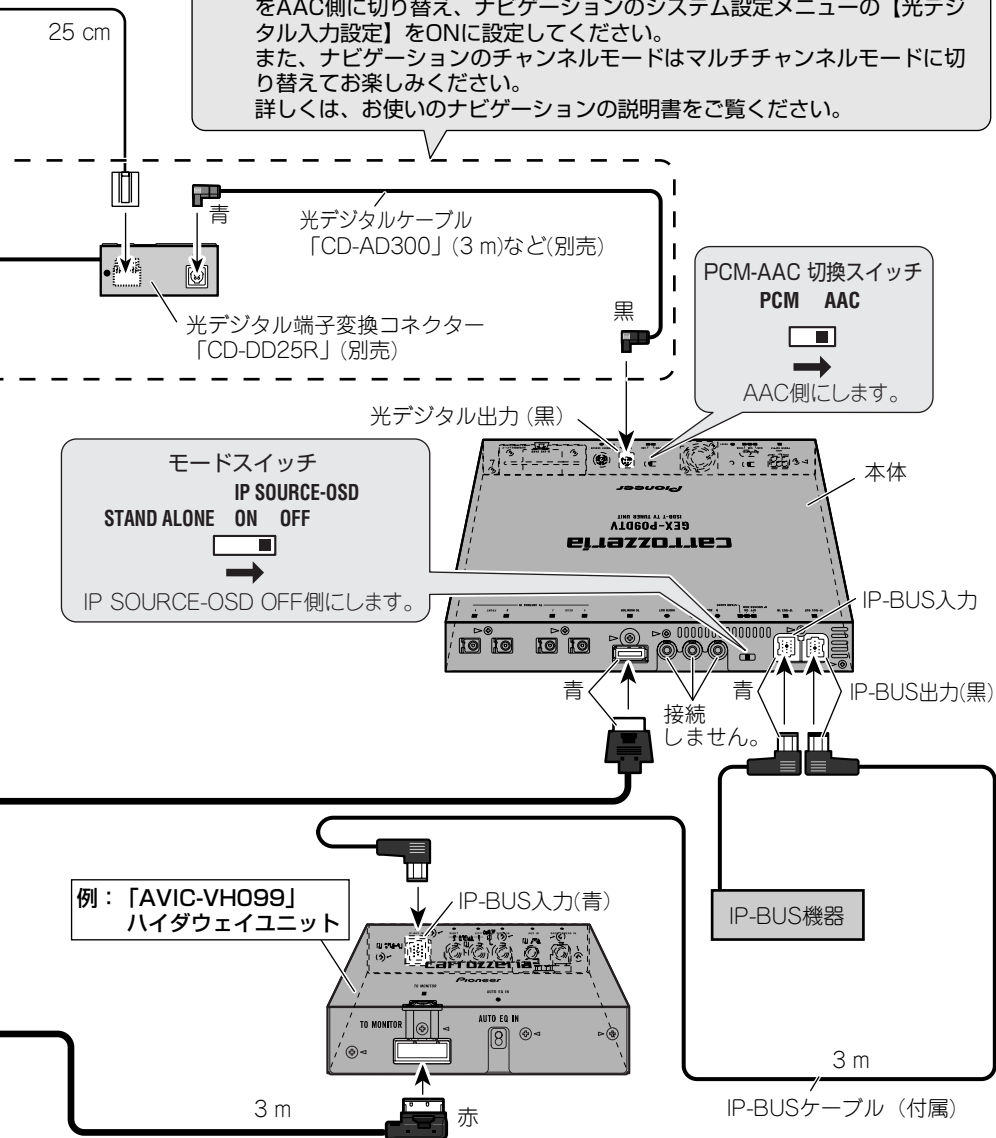


メモ

- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画すると、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、著作権保護の機能により、ビデオデッキを介してモニター出力した場合には、再生目的でも画質が劣化することがあります。これらは機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴するときは、本機とモニターを直接接続してお楽しみください。

地上デジタル放送の5.1chサラウンド放送をマルチチャンネルで臨場感豊かに聴きたい場合に接続します。

注：接続した場合は、必ず地上デジタルTVチューナーのPCM/AACスイッチをAAC側に切り替え、ナビゲーションのシステム設定メニューの【光デジタル入力設定】をONに設定してください。
また、ナビゲーションのチャンネルモードはマルチチャンネルモードに切り替えてお楽しみください。
詳しくは、お使いのナビゲーションの説明書をご覧ください。

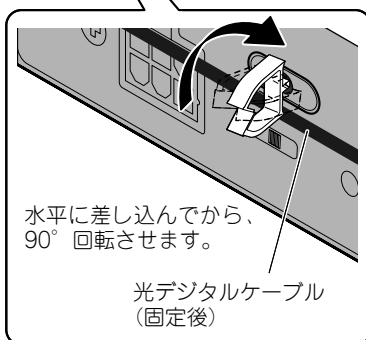
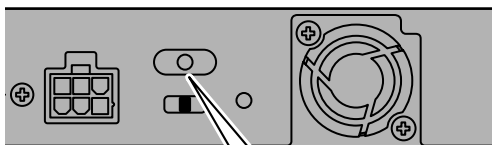


光デジタルケーブルについて

光デジタルケーブルについて

クランパーの取り付け

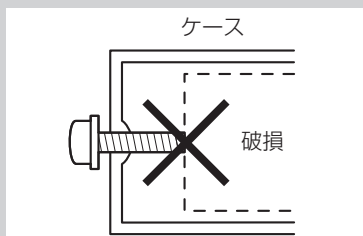
- 別売の機器（例：光デジタルケーブルなど）に付属のクランパーを本機に取り付け、光デジタルラインが鋭く曲がらないよう固定します。



取り付けの前に知ってほしいこと

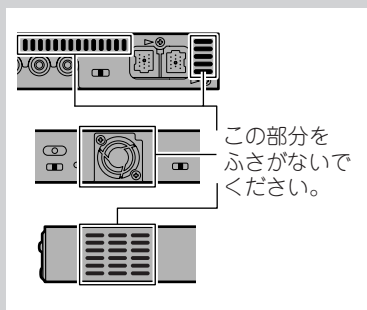
取り付け上のご注意

- 必ず本機および、取り付けキットに付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして危険です。



- 次のような場所には絶対に取り付けないでください。高温により故障する恐れがあります。
 - *ダッシュボードやリアトレイの上のように直射日光の当たる場所。
 - *ヒーターの吹き出し口の近く。
- ドア近くの雨水がかかりやすい場所には取り付けないでください。

- フロントシートの下に取り付けるときは、シートのスライドに支障がないように取り付けてください。
- 平らな面に取り付けてください。平らな面以外に取り付けると、外れたり故障の原因となります。
- しっかりと固定できる場所を選んで取り付けてください。スペアボードやハッチバックのリアトレイなど、車の振動で動く場所には絶対に取り付けないでください。
- 指定の取り付け方法以外で取り付けると性能を十分に発揮できません。また、故障の原因となることがあります。
- 放熱や給気を妨げないために、下図の部分をふさがないように配置してください。



取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認します。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。
- 本体前面および背面にあるスイッチはボールペンの先などであらかじめ切り換えておいてください。
取り付け後ではスイッチの切り換えが困難になります。



- 本体を取り付ける前に、B-CASカードが抜き差しできることを確認してから取り付けてください。

両面テープを貼り付ける前に

- 両面テープを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。

ノイズ防止のために

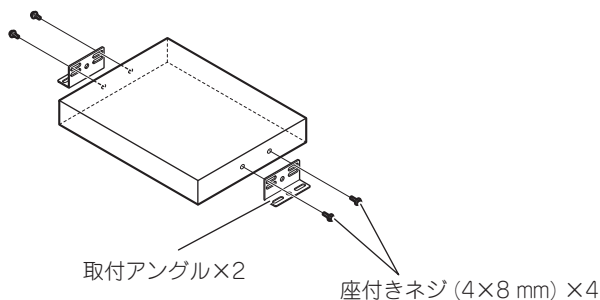
- フィルムアンテナの取り付けのしかたによっては、ラジオ放送に雑音が入る場合があります。フィルムアンテナは、フィルムアンテナの取り付けの説明に従って正しく取り付けてください。
- ノイズ防止のため、次のものは本機およびナビゲーション本体やハイダウエイユニット、他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。
 - * フィルムアンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
 - * GPSアンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM多重用アンテナおよびそのアンテナコード
 - * ビーコン受信機およびそのアンテナコードそれぞれのアンテナコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感が悪くなります。

本体を取り付ける

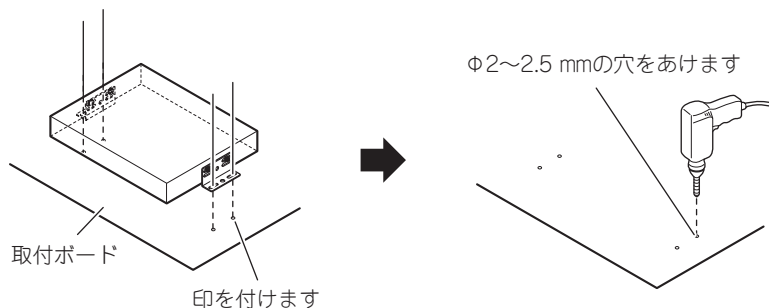
取付アングルを使用して取り付ける

1 取付アングルを本機に取り付ける

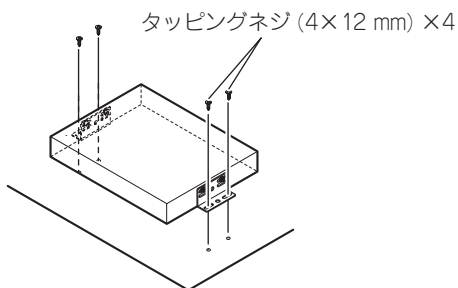
本機を車に取り付けるために、取付アングルを本機に取り付けます。



2 取り付ける位置を決め、穴を開ける



3 タッピングネジで、しっかり固定する



フィルムアンテナの取り付けの前に知ってほしいこと

取り付け上のご注意

- 保安基準*に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく貼り付けてください。
*保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第6号に対する、平成15年9月26日付の運輸省（現、国土交通省）令第95号をいいます。
- 車室内に取り付けるアンテナは、エアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなることがありますが、故障ではありません。
- 車種によって、取り付けられない場合があります。販売店に相談してください。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど、電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店に確認してください。
- 必ず車内の取り付け場所に、市販のテープなどでいったんフィルムアンテナとアンテナケーブルを仮止めして、エレメントとアンプが貼り付けられることを確認してください。
- フィルムアンテナのフィルムやアンプの裏シートをはがした後は、給電端子などに手を触れないでください。静電気による故障や汗や汚れなどで接触不良の原因となります。

- フィルムアンテナは折り曲げないように、取り扱いに注意してください。
- 作業場所は、風が無く、空気中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んでください。
- 気温が低いときやガラスがくもってしまう場合は、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてウィンドウを暖めておいてください。
- フロントウィンドウにTVダイバーシティ・FM多重用フィルムアンテナ「AN-FL1」（別売）などをすでに取り付けている場合は、各アンテナから6cm以上程度離して取り付けます。このため、指定の位置や寸法内に取り付けられないことがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

他のフィルムアンテナとの干渉を考慮して貼り付け位置を決めてください。

一度貼り付けると、粘着力が弱くなるため貼り直しできません。
必ずアンテナケーブルおよびフィルムアンテナを仮止めし、アンテナケーブルの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。

フロント用フィルムアンテナの取り付け

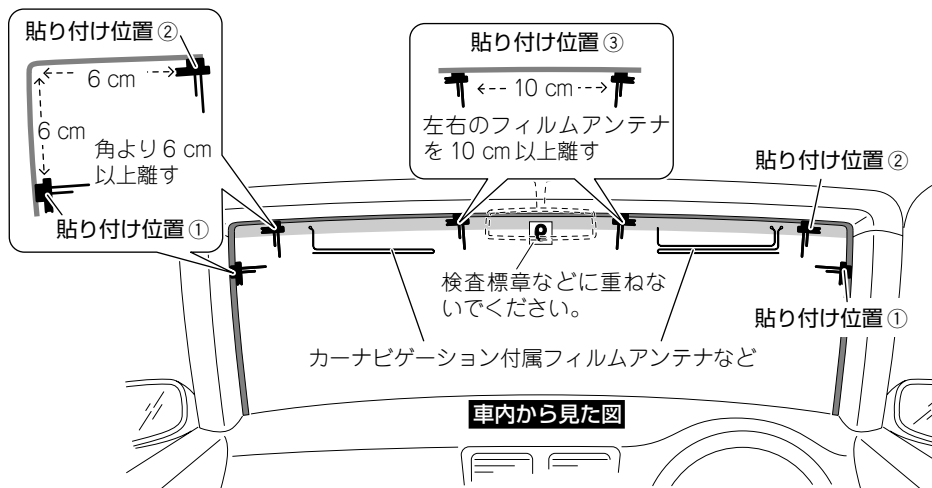
取り付け上のご注意

- アンテナは、フロントウィンドウ貼り付け専用です。フロントウィンドウ以外の場所には、貼り付けないでください。
- フロントウィンドウに縦40 mm × 横100 mm（アンテナを縦向きに貼る場合は、縦100 mm × 横40 mm）の2枚分のスペースが無い車には、取り付けることができません。
- ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両には、取り付けることができません。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。

取り付け位置について

⚠️ 必ずお守りください

運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず「アンブ部の貼付許容範囲」の位置に貼り付けてください。アース部を車体の金属部に貼り付けてピラーなどの内張りでおさえるため、車体の金属部に届く範囲に貼り付けてください。また、許容範囲外に貼り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となります。



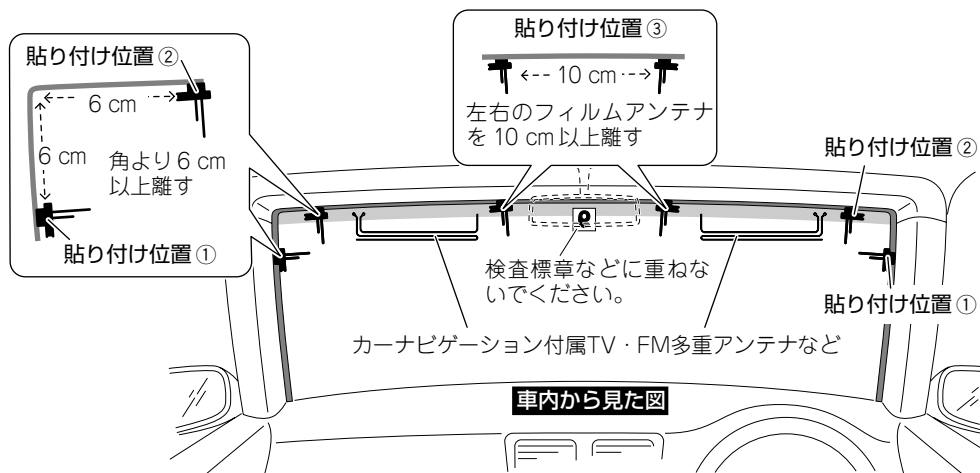
貼付け位置①：フロントガラスの角より6 cm以上離す。

貼付け位置②：フロントガラスの角より6 cm以上および、他のアンテナ（カーナビゲーション付属フィルムアンテナなど）より6 cm以上離す。

貼付け位置③：左右のフィルムアンテナを10 cm以上および、他のアンテナ（カーナビゲーション付属フィルムアンテナなど）より6 cm以上離す。

■カーナビゲーション付属TV・FM多重アンテナを取り付けている場合

既存のフィルムアンテナの位置を確認して、本機のアンテナの位置を選んでください。



貼り付け位置①：フロントガラスの角より6 cm以上離す。

貼り付け位置②：フロントガラスの角より6 cm以上および、他のアンテナ（カーナビゲーション付属TV・FM多重アンテナなど）より6 cm以上離す。

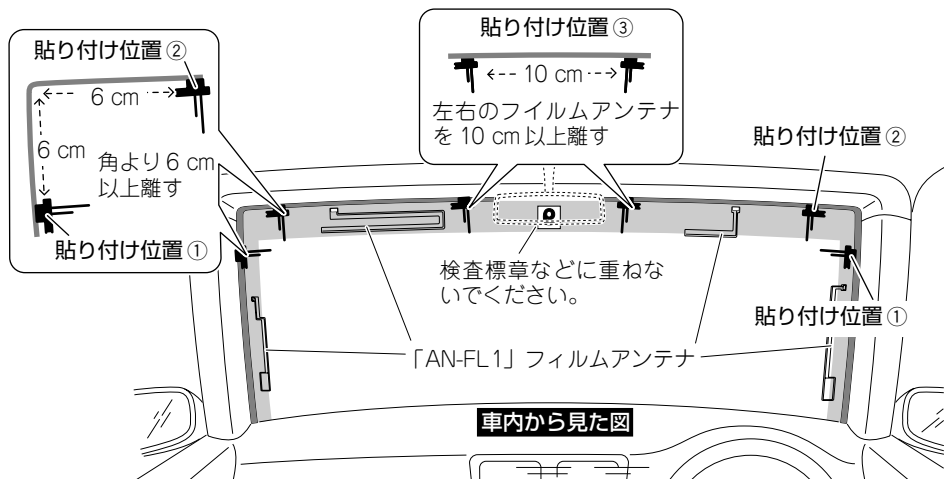
貼り付け位置③：左右のフィルムアンテナを10 cm以上および、他のアンテナ（カーナビゲーション付属TV・FM多重アンテナなど）より6 cm以上離す。



フロント用フィルムアンテナの取り付け

つづき

■TVダイバーシティ・FM多重用フィルムアンテナ「AN-FL1」を取り付けている場合
 既存のフィルムアンテナの位置を確認して、本機のアンテナの位置を選んでください。



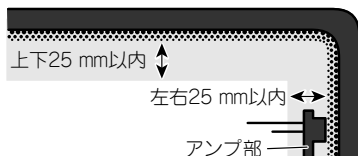
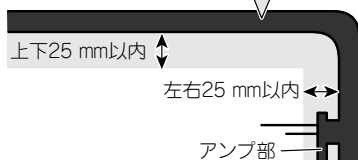
貼り付け位置①②：フロントガラスの角より 6 cm 以上および、「AN-FL1」フィルムアンテナより 6 cm 以上離す。

貼り付け位置③：左右のフィルムアンテナを 10 cm 以上および、「AN-FL1」フィルムアンテナより 6 cm 以上離す。

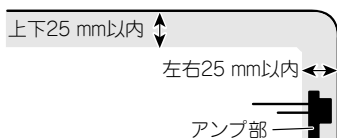
アンプ部の貼付許容範囲

■ セラミックライン有り

ウィンドウの黒い縁（セラミックライン）の上には貼り付けないでください。



■ セラミックライン無し



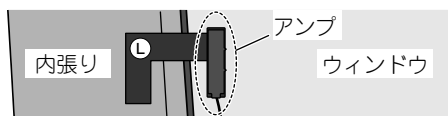
フロント用フィルムアンテナを貼り付ける

メモ

- フィルムアンテナは左側 (L) 用で説明しています。また、取り付け例としてセラミックライン有りの車で説明しています。詳しくは「アンプ部の貼付許容範囲」を参照してください。

1 アンプの仮位置を決める

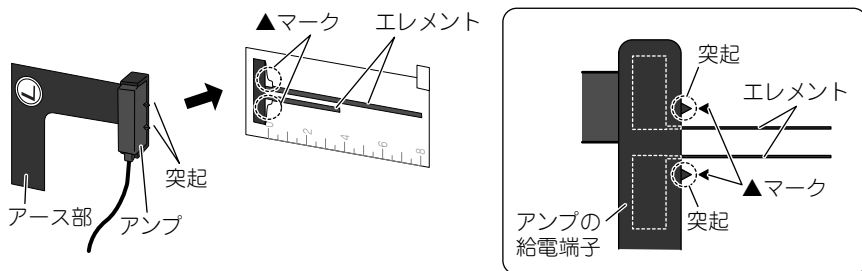
フィルムアンテナの貼り付けの際、車内の内張り（ピラー、ルーフライニングなど）にアンプが当たらないように仮位置を決めます。



- *「貼り付け位置について」を参照して仮位置を決めてください。

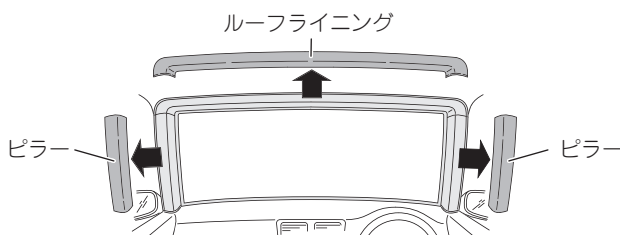
2 フィルムの仮位置を決める

フィルムアンテナの貼り付けの際、エレメントの給電端子接触部の▲マークと、アンプの給電端子の突起が合うように仮位置を決めます。



- *「貼り付け位置について」を参照して仮位置を決めてください。
- *フィルムのものさし印刷部は、貼り付け位置を決めるときに補助としてお使いください。

3 車内の内張り（ピラー、ルーフライニングなど）を取り外す



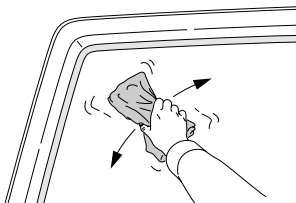
フロント用フィルムアンテナの取り付け

つづき

4 ケーブルを引き回す仮位置を決める

5 フロントウィンドウ内側の汚れ、油などを取り除く

フィルムアンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを、付属のクリーナークロスで取り除いてください。



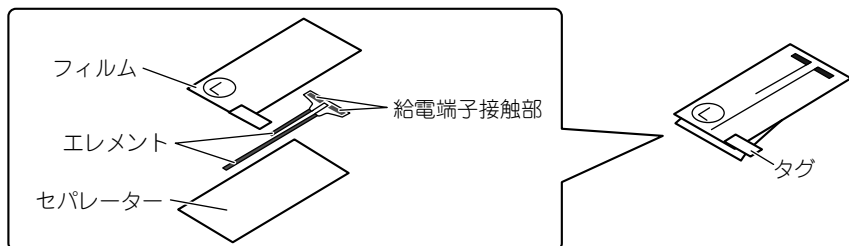
注：クリーナークロスで拭いたあとは、貼り付ける場所およびエレメントには触れないでください。

*アース部を貼り付ける金属部の湿気、ホコリ、汚れ、油なども、取り除いてください。

6 フィルムアンテナを貼り付ける場所を、十分に乾燥させる

7 セパレーターをはがす

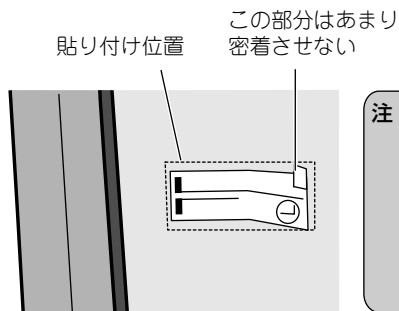
エレメントがフィルム側に貼り付いていることを確認しながら、タグを持ってセパレーターをゆっくりはがします。



- *セパレーターを急にはがすとエレメントが断線する恐れがあります。
- *セパレーターをはがした後は、エレメントに触れたりものを当てたりしないでください。
- *エレメントがセパレーター側に貼り付く場合は、セパレーターを元に戻してフィルム側に貼り付くように強くこすり、もう一度はがしてください。

8 フィルムをフロントウィンドウに貼り付ける

ガラス面の貼り付け位置にフィルムを合わせ、エレメント部分に空気が入ったり、シワが寄らないようにゆっくりと端から貼り付けます。また、一度貼り付けたアンテナをはがしたり位置を変えたりすることはできません。

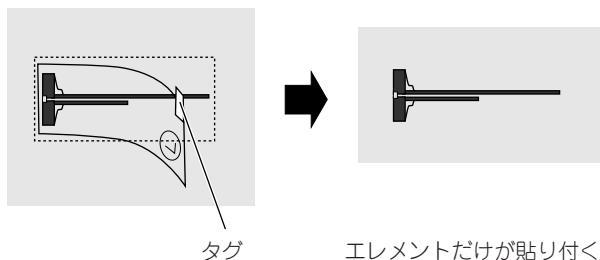


注：汚れ、油膜、水分がガラス面に残っている場合、エレメントがガラス面にうまく貼り付かず、フィルムをはがす際に、エレメントが断線することがあります。十分に汚れ、油膜、水分を拭きとってから貼り付けてください。また、真冬に車内が温かくなると、窓ガラスが結露しますので、十分に乾燥させてからエレメントを貼り付けてください。

- *乾いたガラス面に貼り付けてください。エレメントがガラス面に貼り付かない恐れがあります。
- *貼り付け後は、フィルムの上からエレメントを強く押さえてガラス面に密着させてください。

9 フィルムをはがす

エレメントがガラス面に貼り付いていることを確認しながら、タグを持ってフィルムをゆっくりはがします。



- *エレメントがフィルムと一緒にがれる場合は、フィルムを元に戻してガラス面に貼り付くように強く押しつけてください。

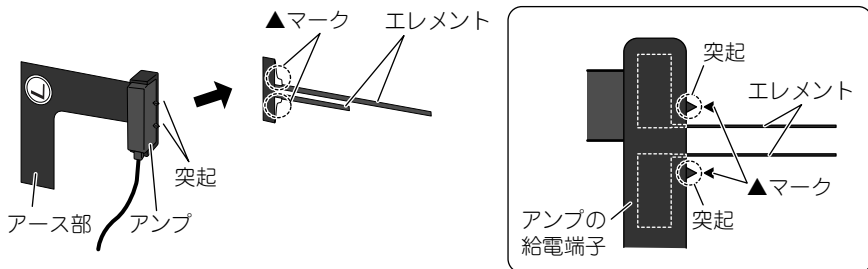
フロント用フィルムアンテナの取り付け

つづき

10 残りのフィルムアンテナも同様に貼り付ける

11 アンブをエレメントに貼り付ける

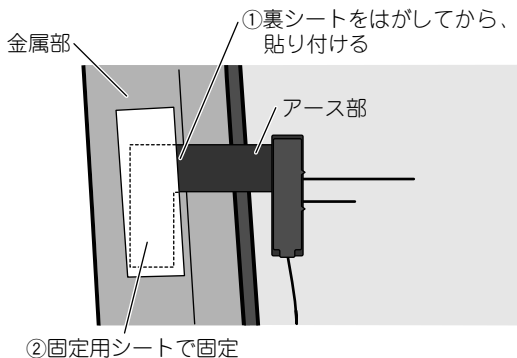
アンブの裏シートをはがして、エレメントの給電端子接触部の▲マークと、アンブの給電端子の突起を合わせるように貼り付けます。



注：コードを引っ張った状態で貼り付けしないでください。

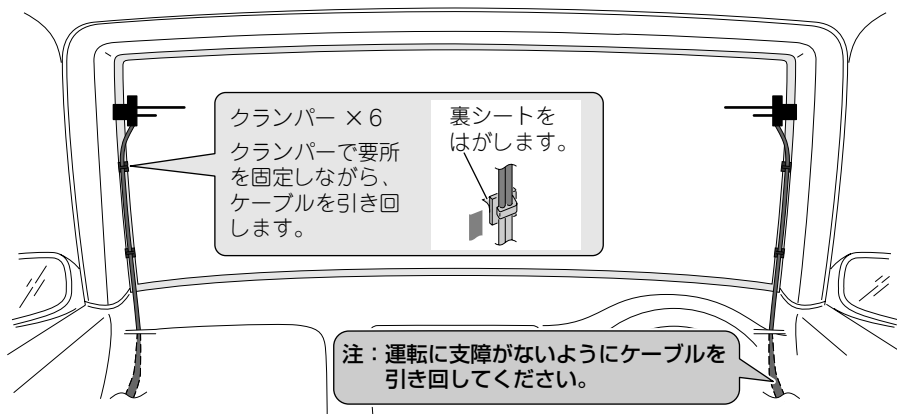
12 アース部を車の金属部に貼り付ける

アース部の裏シートをはがして、ピラーの金属部へ貼り付けます。貼り付けたアース部を付属の固定用シートで固定します。



*裏シートが無い部分が浮き上がらないように、貼り付けてください。

13 ケーブルを引き回す



(☞「電源コード、フィルムアンテナの接続」)

(☞「電源コード、フィルムアンテナの接続」)

注：安全な視野が確保できるようにケーブルを引き回してください。

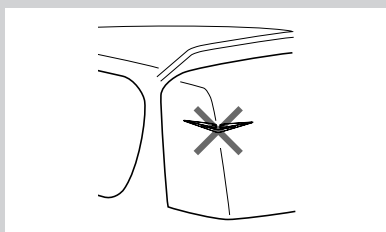
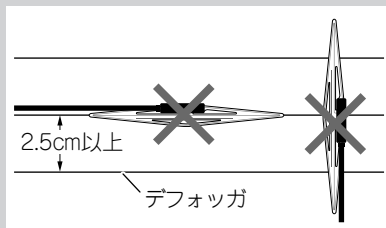
14 内張りを元に戻す

注：アンプのケーブル根元に負荷がかからないように注意してください。

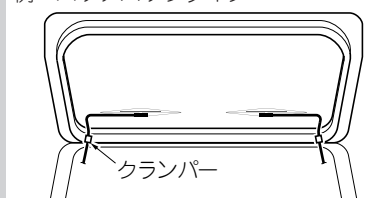
リア用フィルムアンテナの取り付け

取り付け上のご注意

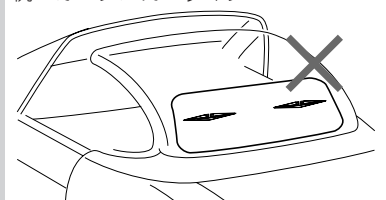
- アンテナは、リアウィンドウ貼り付け専用です。
- リアガラスに縦25 mm × 横200 mm の2枚分のスペースが無い車には、取り付けできません。
- 必ずリアウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。
- フィルムアンテナを縦向きにして取り付けないでください。
- デフォッガ（熱線）に重なった位置に取り付けけないでください。
- リアウインドウのデフォッガ（熱線）の間隔が25 mm以下の場合、取り付けられません。
- リアウインドウにガラスアンテナ（ラジオ等）がある場合、受信感度が悪くなることがあります。
- リアウィンドウの湾曲した面には貼り付けないでください。
- ハッチバックの開閉時に、ケーブルが引っ張られたり、じゃまにならないように、クランパーを使用して要所をしっかりと固定してください。
- ハッチバックを開いた状態でフィルムアンテナの取り付けをする場合、フィルムアンテナの上下の向きに注意してください。
- オープンカータイプや、リアウィンドウが収納されたり、開閉したりするタイプの車両には、フィルムアンテナは取り付けないでください。



例：ハッチバックタイプ



例：オープンカータイプ

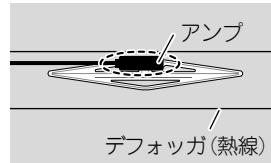


貼り付け位置について

⚠️ 必ずお守りください

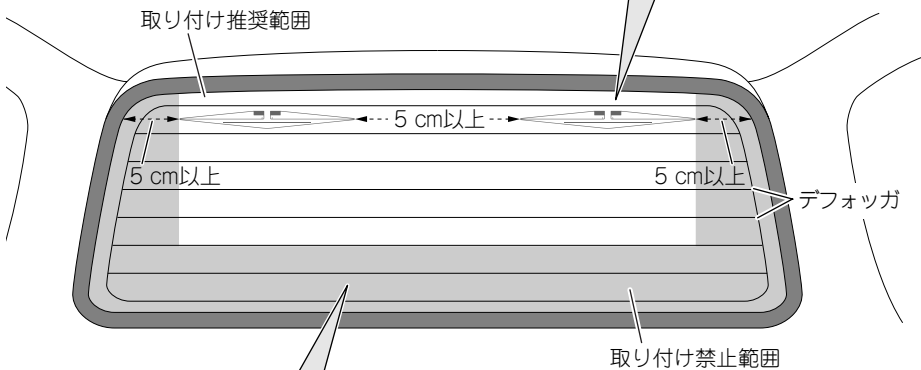
運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず「取り付け推奨範囲」の位置に取り付けてください。

フィルムアンテナを横向きにし、アンプの取り付け位置を上にして、デフォッガ（熱線）とデフォッガ（熱線）の間に貼り付ける。



取り付け推奨範囲について

- 左右にフィルムアンテナ及び他のアンテナを取り付ける場合、5 cm以上離してください。
- 上下にフィルムアンテナ及び他のアンテナを設置する場合、10 cm以上離してください。



取り付け禁止範囲について

- ガラス開口部の左右から5 cm以内は貼り付けないでください。
- リアウィンドウの黒い線（セラミックライン）の上には貼り付けないでください。
- アンテナの受信感度が悪くなるので、リアウィンドウの下には貼り付けないでください。



リア用フィルムアンテナの取り付け

つづき

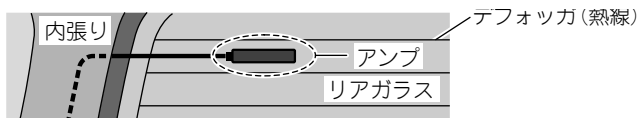
リア用フィルムアンテナを貼り付ける

メモ

- フィルムアンテナは左側で説明しています。また、取り付け例としてセラミックライン有りの車で説明しています。詳しくは「取り付け推奨範囲」を参照してください。

1 アンプの仮位置を決める

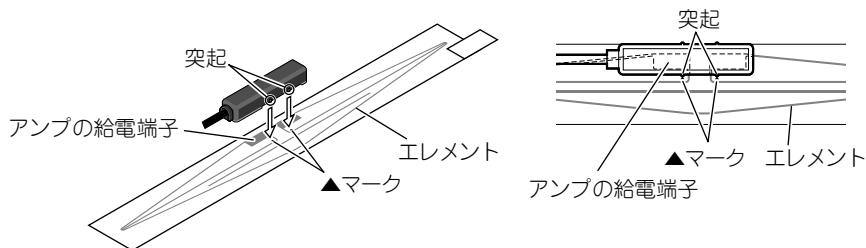
フィルムアンテナの貼り付けの際、車内の内張りにアンプが当たらないように仮位置を決めます。



*「貼り付け位置について」を参照して仮位置を決めてください。

2 フィルムの仮位置を決める

フィルムアンテナの貼り付けの際、エレメントの給電端子接触部の▲マークと、アンプの給電端子の突起が合うように仮位置を決めます。



*「貼り付け位置について」を参照して仮位置を決めてください。

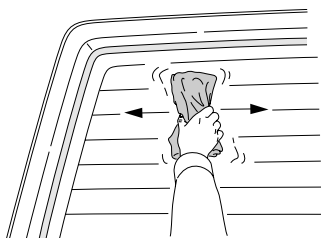
*貼り付け位置を決めるときに補助としてフロント用フィルムアンテナのものさし印刷部を利用すると便利です。

3 車内の内張りを取り外す

4 ケーブルを引き回す仮位置を決める

5 リアウィンドウ内側の汚れ、油などを取り除く

フィルムアンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを、付属のクリーナークロスで取り除いてください。



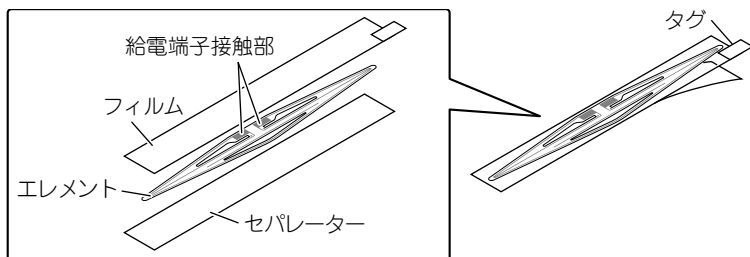
注：クリーナークロスで拭いたあとは、貼り付ける場所およびエレメントには触れないでください。

*デフォッガ（熱線）を傷めないように、デフォッガ（熱線）のラインに沿って拭いてください。

6 フィルムアンテナを貼り付ける場所を、十分に乾燥させる

7 セパレーターをはがす

エレメントがフィルム側に貼り付いていることを確認しながら、タグを持ってセパレーターをゆっくりはがします。



- *セパレーターを急にはがすとエレメントが断線する恐れがあります。
- *セパレーターをはがした後は、エレメントに触れたりものを当てたりしないでください。
- *エレメントがセパレーター側に貼り付く場合は、セパレーターを元に戻してフィルム側に貼り付くように強くこすり、もう一度はがしてください。

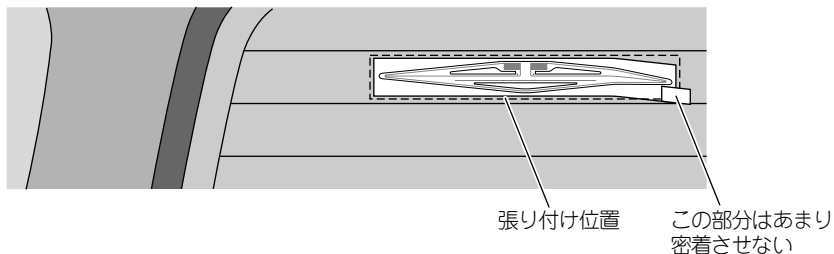


リア用フィルムアンテナの取り付け

つづき

8 フィルムをリアウィンドウに貼り付ける

ガラス面の貼り付け位置にフィルムを合わせ、エレメント部分に空気が入ったり、シワが寄らないようにゆっくりと端から貼り付けます。また、一度貼り付けたアンテナをはがしたり位置を変えたりすることはできません。

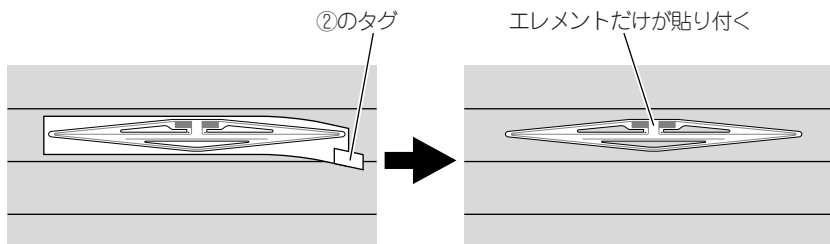


注：汚れ、油膜、水分がガラス面に残っている場合、エレメントがガラス面にうまく貼り付かず、フィルムをはがす際に、エレメントが断線することがあります。十分に汚れ、油膜、水分を拭きとってから貼り付けてください。また、真冬に車内が温かくなると、窓ガラスが結露しますので、十分に乾燥させてからエレメントを貼り付けてください。

- * 乾いたガラス面に貼り付けてください。エレメントがガラス面に貼り付かない恐れがあります。
- * 貼り付け後は、フィルムの上からエレメントを強く押さえてガラス面に密着させてください。

9 フィルムをはがす

エレメントがガラス面に貼り付いていることを確認しながら、タグを持ってフィルムをゆっくりはがします。

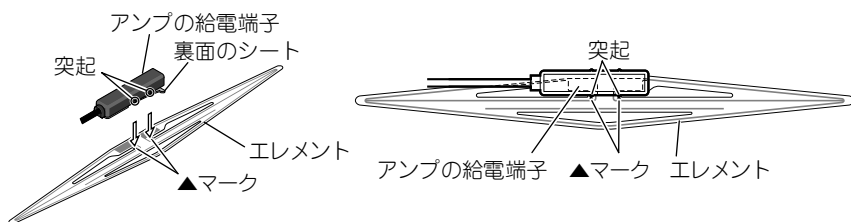


*エレメントがフィルムと一緒にはがれる場合は、フィルムを元に戻してガラス面に貼り付くように強く押しつけてください。

10 残りのフィルムアンテナも同様に貼り付ける

11 アンブをエレメントに貼り付ける

アンブの裏シートをはがして、エレメントの給電端子接触部の▲マークと、アンブの給電端子の突起を合わせるように貼り付けます。

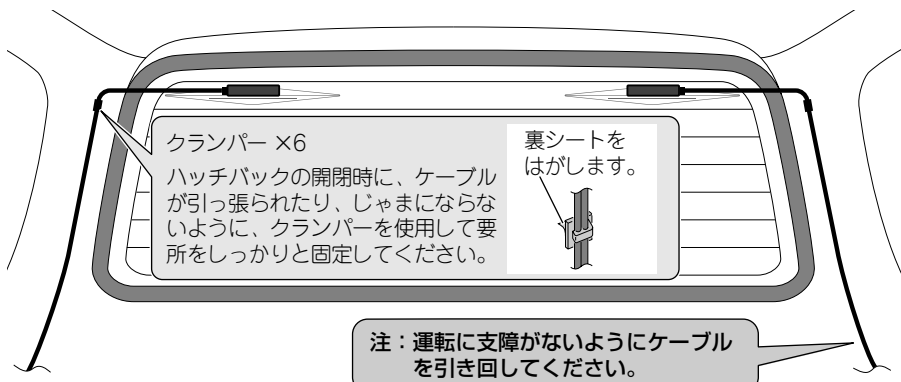




リア用フィルムアンテナの取り付け

つづき

12 アンテナケーブルを引き回す



(☞「電源コード、フィルムアンテナの接続」)

(☞「電源コード、フィルムアンテナの接続」)

注：安全な視界が確保できるようにケーブルを引き回してください。

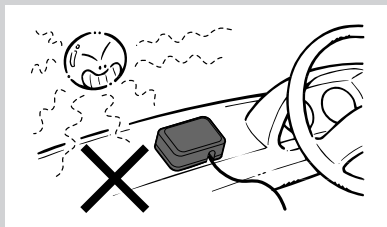
13 内張りを元に戻す

注：アンプのケーブル根元部に負荷がかからないように注意してください。

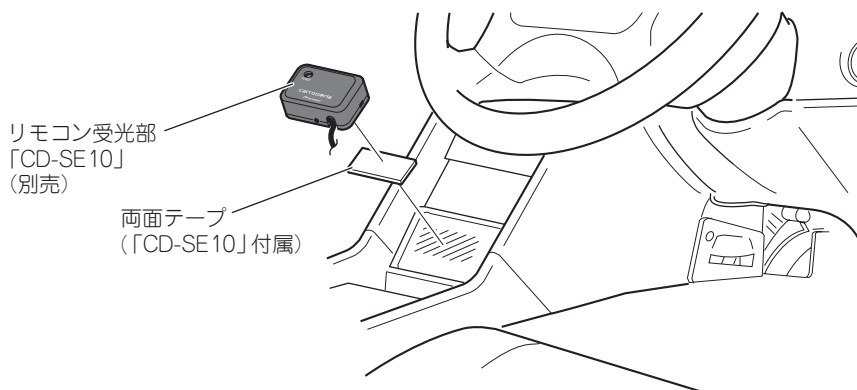
「CD-SE10」に同梱のリモコン受光部の取り付け(別売)

取り付け上のご注意

- 直射日光の当たるダッシュボードの上には、絶対に取り付けしないでください。高温により故障する恐れがあります。
- リモコンの信号がとどく範囲内に取り付けてください。



「CD-SE10」に付属の両面テープをリモコン受光部の裏面に貼り付け、センターコンソールなどに取り付けます。



動作を確認する

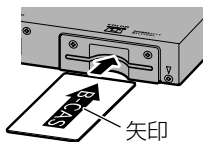
接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する

確認

接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見て確認してください。

2 B-CASカードを挿入する



3 車のエンジンをかける



4 ボールペンの先などでリセットボタンを押す



リセットボタン

5 本機の動作を確認する (取扱説明書)